

# 大阪府工業指数2022年11月【速報】

## 毎月の生産・出荷・在庫の推移

### 1 概況

#### (1) 生産指数…94.7 前月比 7.7% 3か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、金属製品工業など 10 業種が上昇し、プラスチック製品工業、その他工業など 4 業種が低下した。

品目別にみると、医薬品、鉄道車両等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲3.2%と3か月連続の低下となった。

#### (2) 出荷指数…92.2 前月比 3.9% 3か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、金属製品工業など 8 業種が上昇し、プラスチック製品工業、生産用機械工業など 6 業種が低下した。

品目別にみると、鉄道車両、医薬品等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲6.3%と3か月連続の低下となった。

#### (3) 在庫指数…107.7 前月比 1.0% 7か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、輸送機械工業など 9 業種が上昇し、鉄鋼・非鉄金属工業、石油・石炭製品工業など 4 業種が低下した。

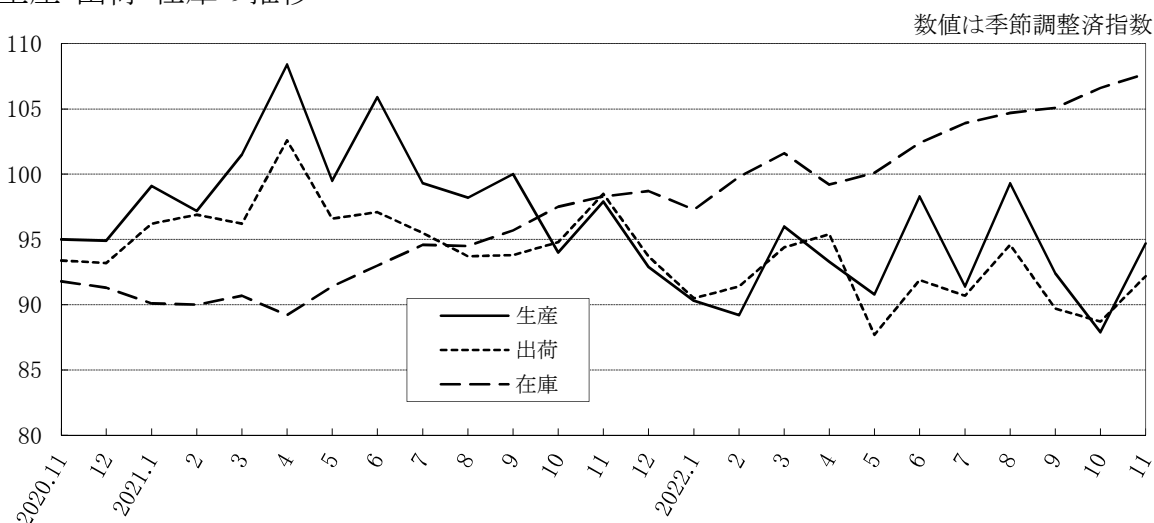
品目別にみると、アンモニア、乾電池等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、9.6%と15か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2022年 10月	87.9	▲ 4.9	92.9	▲ 6.4
	2022年 11月	94.7	7.7	96.6	▲ 3.2
出 荷	2022年 10月	88.7	▲ 1.1	90.1	▲ 6.4
	2022年 11月	92.2	3.9	94.4	▲ 6.3
在 庫	2022年 10月	106.6	1.4	106.4	9.4
	2022年 11月	107.7	1.0	107.2	9.6

### 生産・出荷・在庫の推移



## 2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 7.7% 上昇 10 業種  
 低下 4 業種  
 横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	3.697	17.1	医薬品、フルオロカーボン
	金属製品工業	1.236	15.7	飲料用アルミニウム缶、橋りょう
	電気・情報通信機械工業	1.059	9.6	セパレート形エアコン(室外)、アーク溶接機
	生産用機械工業	0.844	6.3	超硬工具、ショベル系掘削機械
	輸送機械工業	0.798	13.2	鉄道車両、電動アシスト自転車
	窯業・土石製品工業	0.331	23.3	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	電子部品・デバイス工業	0.220	28.5	アクティブ型液晶パネル
	食料品工業	0.073	0.8	ビール・発泡酒、新ジャンルビール
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.041	2.5	紙器用板紙
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.018	0.2	アルミニウムはく、鉄鋼切断品
	その他の上昇した品目			汎用内燃機関【汎用・業務用機械工業】 機械プレス【生産用機械工業】
低下	プラスチック製品工業	▲0.419	▲9.3	プラスチック製容器(中空成形) プラスチック製機械器具部品
	その他工業	▲0.185	▲3.1	マーキングペン、ガラス製魔法瓶
	石油・石炭製品工業	▲0.121	▲7.9	ナフサ、重油
	汎用・業務用機械工業	▲0.066	▲0.8	ポンプ、分析機器
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	医薬品	化学工業
	2	鉄道車両	輸送機械工業
	3	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	4	超硬工具	生産用機械工業
	5	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	6	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	7	橋りょう	金属製品工業
	8	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	9	無アルカリガラス基板	窯業・土石製品工業
	10	ビール・発泡酒	食料品工業
低下	1	鉄道車両部品	輸送機械工業
	2	プラスチック製容器(中空成形)	プラスチック製品工業
	3	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
	4	化学機械	生産用機械工業
	5	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	生産用機械工業
	6	ウイスキー	食料品工業
	7	繊維機械	生産用機械工業
	8	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	9	光学用ガラス素地	窯業・土石製品工業
	10	食用油脂	食料品工業

## (2) 出荷

前月比

3.9%

上昇 8 業種  
 低下 6 業種  
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	1.320	10.2	医薬品、イソプロピルアルコール
	金属製品工業	0.951	11.1	橋りょう、鉄塔
	輸送機械工業	0.800	10.1	鉄道車両、軽乗用車
	電気・情報通信機械工業	0.467	6.1	セパレート形エアコン(室外)、アーク溶接機
	食料品工業	0.225	2.8	ビール・発泡酒、新ジャンルビール
	窯業・土石製品工業	0.158	12.7	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	その他工業	0.069	1.2	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下) 工業用ゴム製品
	電子部品・デバイス工業	0.019	3.3	電子回路基板
	その他の上昇した品目			ショベル系掘削機械【生産用機械工業】 精製・混合原料油【石油・石炭製品工業】
低下	プラスチック製品工業	▲0.338	▲7.6	プラスチック製容器(中空成形) プラスチック製機械器具部品
	生産用機械工業	▲0.218	▲1.8	装輪式トラクタ、化学機械
	石油・石炭製品工業	▲0.198	▲2.2	重油、軽油
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.091	▲0.7	亜鉛めっき鋼板、銅荒引線
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.039	▲2.6	段ボール原紙
	汎用・業務用機械工業	▲0.007	▲0.1	分析機器、汎用内燃機関
	その他の低下した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】 電動アシスト自転車【輸送機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

## (3) 在庫

前月比

1.0%

上昇 9 業種  
 低下 4 業種  
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	1.570	10.6	アンモニア、石けん類
	輸送機械工業	0.402	36.4	電動アシスト自転車
	電気・情報通信機械工業	0.299	1.5	乾電池、LED器具(除. 自動車用)
	汎用・業務用機械工業	0.220	1.9	汎用内燃機関、エアハンドリングユニット
	生産用機械工業	0.154	8.2	装輪式トラクタ
	金属製品工業	0.058	0.6	飲料用アルミニウム缶、ワイヤロープ
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.047	3.1	段ボール原紙
	プラスチック製品工業	0.027	0.8	プラスチック製フィルム・シート プラスチック製機械器具部品
	窯業・土石製品工業	0.015	1.4	無アルカリガラス基板、電気用陶磁器
	その他の上昇した品目			フェノール【化学工業】 ビスフェノールA【化学工業】
低下	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.644	▲2.9	鉄鋼切断品、鋼半製品
	石油・石炭製品工業	▲0.393	▲12.6	灯油、液化石油ガス
	その他工業	▲0.101	▲1.8	金属製家具、木製家具
	食料品工業	▲0.069	▲1.8	食用油脂
	その他の低下した品目			産業用アルミニウム製品【金属製品工業】 セパレート形エアコン(室外)【電気・情報通信機械工業】

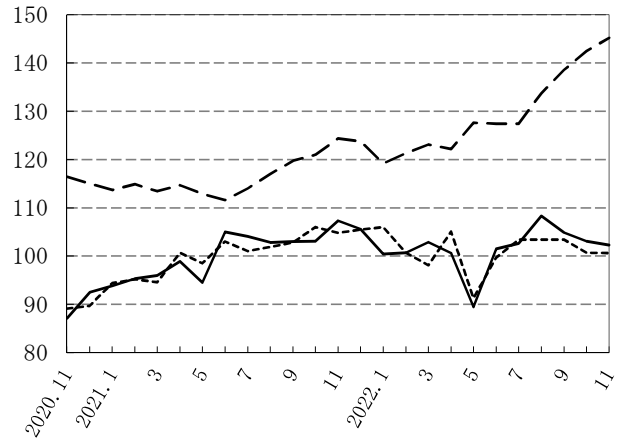
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

### 3 業種分類別の推移

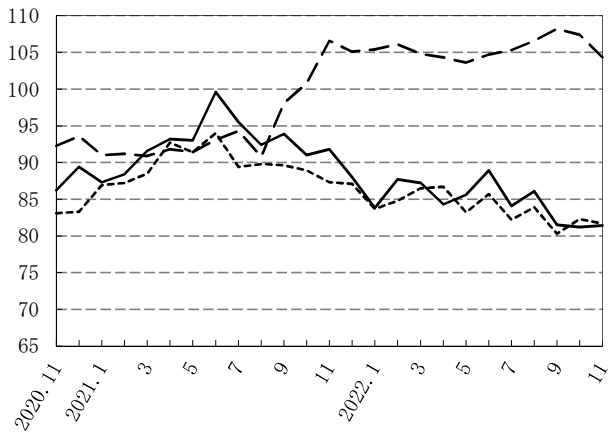
数値は季節調整済指数  
2015年=100

生産 ————  
出荷 .....  
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



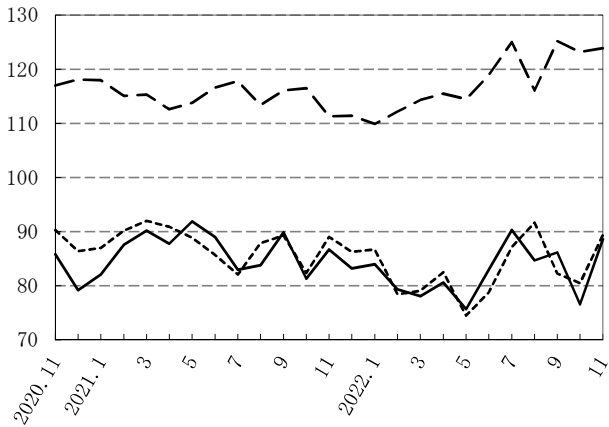
鉄鋼・非鉄金属工業



電子部品・デバイス工業



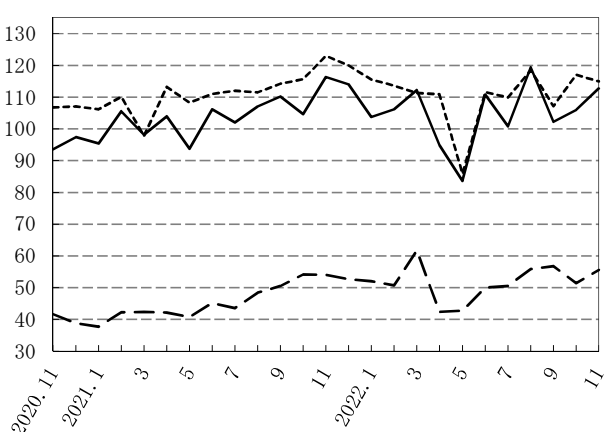
金属製品工業



電気・情報通信機械工業



生産用機械工業



輸送機械工業



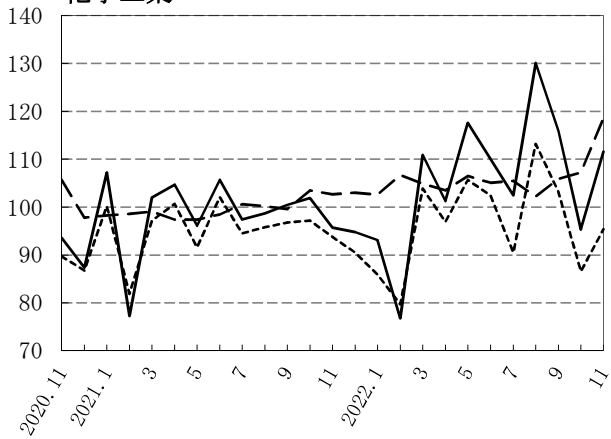
窯業・土石製品工業



パルプ・紙・紙加工品工業



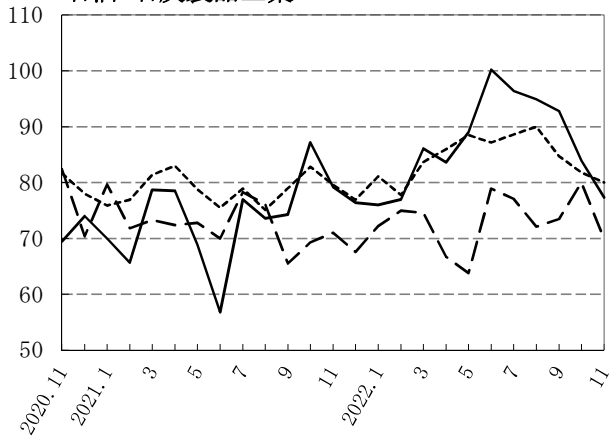
化学工業



食品工業



石油・石炭製品工業



その他工業



プラスチック製品工業



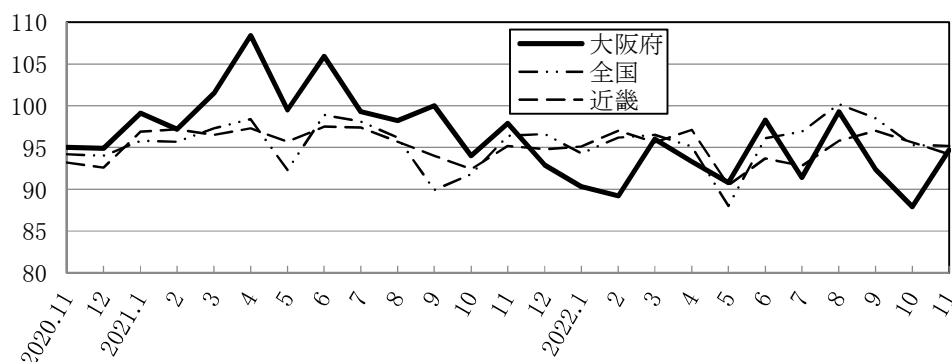
## 4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	94.7	7.7	95.2	▲ 0.1	94.2	▲ 1.5
出荷	92.2	3.9	93.0	▲ 0.5	93.6	▲ 5.4
在庫	107.7	1.0	103.6	0.3	107.3	0.8

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



### 1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

### 2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

### 3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

### 4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2021年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2022年7月速報(2022年9月30日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2022年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)